

# 豊浦中学校線 交通安全対策の実験結果について

- 町道豊浦中学校線の安全性向上を目的として実施。
- 路線入口に総重量違反車両の進入抑制ポール、路線中腹に減速対策としてハンプ（段差）を設置。
- 北海道開発局の協力のもと、ETC2.0 データを活用して交通状況を分析し、実験の効果を整理。

## 実施概要

設置期間：令和7年9月15日（月）  
～現在も継続中

場 所：町道豊浦中学校線

走行方向：（A）国道⇒道道  
（B）道道⇒国道



▲ハンプ設置状況

## ▼ ETC2.0 データについて

### 《分析期間》

設置前：令和7年8月1日～9月14日

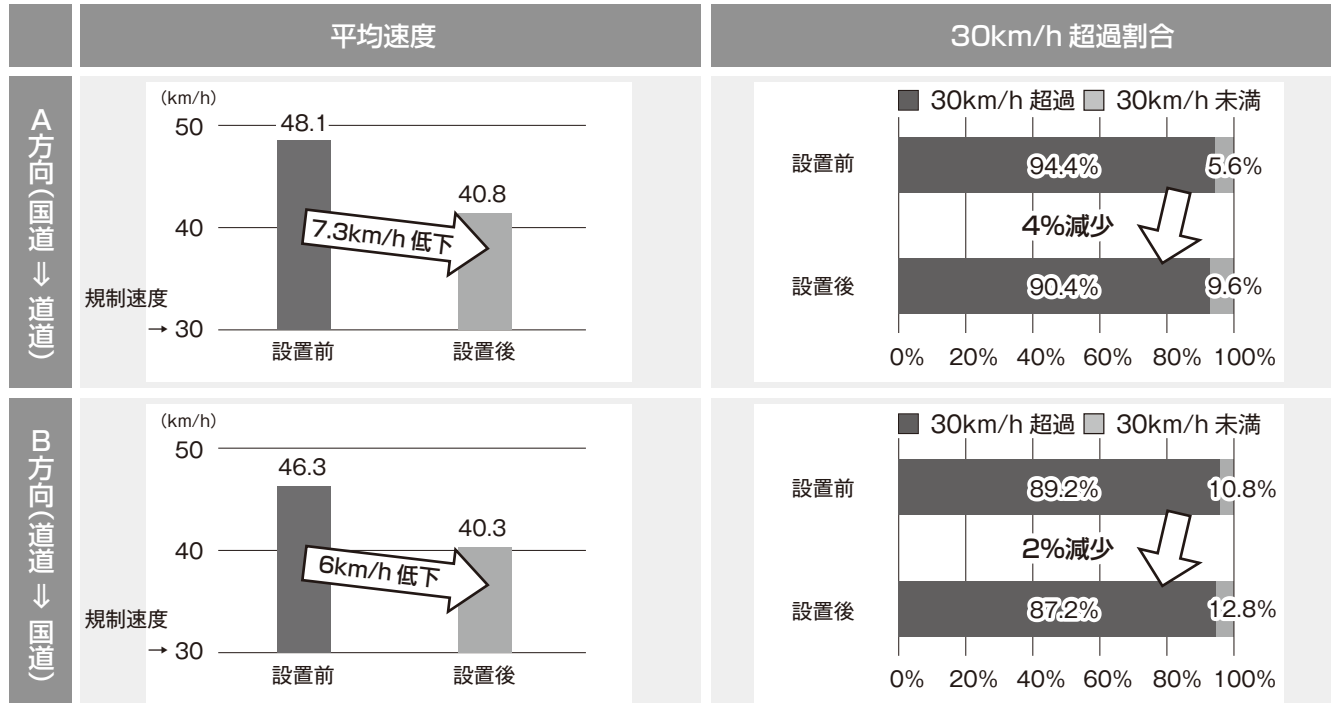
設置後：令和7年9月15日～11月30日

### 《サンプル台数》

設置前：A方向 27,190台、B方向 32,571台

設置後：A方向 28,026台、B方向 34,151台

※サンプル台数とは、ETC2.0 車載器を搭載した車両が、「走行距離 200 m毎」または「進行方向が45度変化」した場合に記録されたデータ数。



- 路線全体の走行台数（日平均）が 1,560 台 → 899 台（減少率42.4%）。
- 両方向ともに平均速度が6km/h以上低下、速度超過の割合も2～4%減少。
- 除雪作業への影響はなく、冬期間を含め通年設置が可能。